



教育目標「思いやる子」「考える子」「がんばる子」「すこやかな子」

運動会 次年度に向けて

校長 清水 勝一

遠足を実施しました。運動会が今年初めての学校公開なら、遠足は今年初めての校外学習でした。例年ならバスを使って遠出することもある行事ですが、今年は、バス内の密集・密閉・密接が心配でしたので、全学年とも徒歩遠足にしました。当日は天候に恵まれ爽やかな気候の中、子供たちが友達と楽しそうに伸び伸びと遊ぶ様子を見ることができ、うれしく思いました。

さて、先月号に続き、運動会についてお伝えしたいと思います。保護者の皆様にはご感想やご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。今年は新型コロナウイルスに対応した三部制・縮小版での実施でしたが、保護者の皆様からの声で一番多かったのは、「とにかく実施できて子供たちが頑張る様子を参観できてよかった。」でした。子供たちを応援してきた教職員としましても、保護者の方とその思いを共有でき達成感でいっぱいです。

それから、次年度に言及する声も多数寄せられました。多かったのは「次年度は、いつもの活気ある運動会が見たい。」でしたが、違う視点のご意見も多数寄せられました。いくつか紹介しますと「短時間で子供も親も負担が少なかった。」「保護者の分散により混雑せず演技がよく見えた。」「シートによる場所取りがなく、早朝から並ばずに済んだ。」「弁当を子供の分だけ用意すればよかったので負担が減った。」「秋開催で熱中症の心配がなかった。」など、いずれも示唆に富んだものでした。中でも私がはっとしたのは、「子供の成長を見守るという運動会参観の本来あるべき保護者の目的がきちんと実行できた。子供の成長を見守り、係活動などで努力する姿も含めて頑張る子供たちに感動し、心からの声援と拍手を送ることが純粋にできた。」というご意見でした。今まで私の中に「運動会はこういうもの」という固定概念があり、それを疑うことはあまりありませんでしたが、今回の運動会を機に、時代は変わり児童や保護者の生活様式や運動会に対する考え方が多様化していることに気付かされました。次年度のコロナ禍の状況は予測できませんが、運動会の意義を見つめ直し、としま若葉小学校の子供たちにとってどんな運動会がよいのか、保護者の方にどんな支援をお願いしたらよいのかを検討していきます。



12月行事予定



生活目標「ものを大切にしよう」

日	曜	行事	日	曜	行事
1	火	安全指導 特別時程5時間 個人面談②	16	水	個人面談⑥ 学力フォローアップ教室3,4年
2	水	学力フォローアップ教室3,4年 [A]	17	木	[A] [SC]
3	木	委員会活動 [A] [SC]	18	金	展覧会(児童鑑賞日) 学力フォローアップ教室5,6年 [A]
4	金	縦割り班遊び 学力フォローアップ教室5,6年 [A]	19	土	展覧会(保護者鑑賞日)
5	土	土曜授業⑤	20	日	
6	日		21	月	振替休業日
7	月	特別時程5時間 個人面談③	22	火	
8	火	避難訓練	23	水	午前授業 [A]
9	水	学力フォローアップ教室3,4年 [A] 研究授業③4年	24	木	クラブ活動 [A] [SC]
10	木	特別時程5時間 個人面談④ [A] [SC]	25	金	5時間授業 給食終 [A]
11	金	学力フォローアップ教室5,6年 [A]	26	土	冬季休業日始 ~1月7日まで
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月	海洋教育3年	29	火	
15	火	特別時程5時間 個人面談⑤	30	水	
			31	木	

[SC]: スクールカウンセラー

[A]: 外国語講師

★★★低学年遠足を終えて★★★

1年担任 長岡 功登

11月6日（金）に1～3年生は、都市農業公園に行きました。

1年生にとっては初めての校外学習であり、初めての遠出でした。片道約1時間の道のりでしたが、「道路を広がって歩かない」「手を上げて横断歩道を渡る」などのルールをしっかりと守りながら、無事に目的地へと到着することができました。

都市農業公園では、たくさんの自然を見つける「ネイチャーゲーム」、荒川の土手で遊ぶ「河川敷遊び」、芝生広場で、学級ごとに決めた遊びを行う「芝生広場遊び」をしました。

子供たちが楽しみにしている昼食は、新型コロナウイルス感染症対策のため、横一列に並び、向かい合わずに静かに食べました。少し寂しい感じがしますが、子供たちは、お弁当を楽しんでいました。

帰りも約1時間の道のりを歩き、くたくたになっていましたが、副校長先生との振り返りでは、みんなが「楽しかった。」と満足そうにしていました。

今年度は、色々と制約のある中での遠足でしたが、子供たちは、充実感を味わうことができていました。

★★★高学年遠足を終えて★★★

5年担任 田村 直子

4～6年生は、飛鳥山公園に行きました。

今年は往復徒歩でしたが、天気にも恵まれ、久しぶりの学校外での行事は楽しく過ごすことができました。

飛鳥山公園では「謎解きウォークラリー」として、グループで各先生を見つけ、ミッションや出された謎を解いてゴールの校長先生に伝えるというアトラクションをしました。

大型遊具が改修工事で使用できなかつたり、制約が多かつたりして例年の遠足より物足りなく感じるだろうと予想していましたが、「普段あまり話すことのない他学年の先生と話ができて、楽しかったです。」「せっかく見つけた先生に逃げられて、やっと捕まえました。」「友達と協力して、謎が解けてうれしかったです。」などの声が聞けてよかったです。

今できることを工夫して、できることの中で楽しもうとする姿に成長を感じました。

★今年度の研究について★

研究主任 高畑 明奈

今年度は、昨年度に引き続き「児童一人一人が分かり、共に学ぶ喜びを味わう指導の工夫～算数科を通して～」を研究主題として、以下のような児童の育成に取り組んでいます。

- ・習った事をもとに考え、課題を解決できる児童
- ・自分の考えの根拠を示し、筋道を立てた説明ができる児童
- ・自分の考えと関連付けながら友達の考えを聞き、新たな方法に気付いたり、考えを深めたりすることができる児童

10月、11月に行われた研究授業では、これまで学んできた知識や技能を活用し、自分なりの解き方を図や式、表などでノートにかき表したり、友達と自分の考えを比較したりしながら、学習に取り組む児童の姿が多く見受けられました。

一年の折り返しとなり、学校は学習の充実期を迎えています。日々の授業では、教師がどう教えるかではなく、子供がどう学んでいくかを考え、距離を保ちながらも友達との交流を通じた深い学びを目指していきます。そして、日常生活の様々な場面で算数で学んだことを生かしていけることを期待しています。

※令和3年1月27日（水）に延期予定だった学校保健委員会は、新型コロナ感染症流行状況を踏まえ、中止となりました。ご承知おきください。